|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 身体が著しく成長するとともに，精神面でも親からの自立や社会批判など様々な変化がみられる12～15歳から22～25歳頃までの時期を何というか。 |  |
| 2 | 青年期において，身体が急激に成長し，性的な特徴が著しくなることを何というか。 |  |
| 3 | 青年期とほぼ同義であるが，第二次性徴とそれにともなう性の目覚めを強調した時期を何というか。 |  |
| 4 | 青年が社会人として成長するまでの22，23歳から30歳ぐらいまでの時期を何というか。 |  |
| 5 | 小学校低学年から高学年にかけて，性別や年齢が雑多な集団で遊び仲間を形成する時期を何というか。 |  |
| 6 | 子どもでもおとなでもなく，その両方の世界に所属していることから，社会のなかで極めて不明確な位置にある青年期の青年を何というか。 |  |
| 7 | 青年の特色をマージナル-マンと表したドイツ出身のアメリカの心理学者はだれか。 |  |
| 8 | ある社会において，個人が誕生して成長する段階を移行する際に，それを位置づける儀式を何というか。 |  |
| 9 | 青年の成長過程について「世界のすべてのものと無縁でなくなる」と表現したフランスの思想家はだれか。 |  |
| 10 | 人生における青年期の意義を説き，生まれながらの善性を原理とするルソーの物語風教育論とは何か。 |  |
| 11 | ルソーが『エミール』のなかで記した語で，身体的誕生に対して青年期の精神的な成長を示す語は何か。 |  |
| 12 | 青年期において，他人とは異なる自分の存在を意識し，自己の人生の意味を考えはじめることを何というか。 |  |
| 13 | 青年が新しい自己を確立するために，おとなの保護や監督のもとから離脱していく過程を何というか。 |  |
| 14 | 青年期における親の保護から自立しようとする傾向を心理的離乳とよんだアメリカの心理学者はだれか。 |  |
| 15 | 子どもが成長する過程において親や周囲のおとなたちに反抗的になる時期を何というか。 |  |
| 16 | 不安や恐怖などの感情により無意識のうちに抑圧された心理の集合を何というか。 |  |
| 17 | 自分の身体・能力などが他人と比べて劣っていたり，他人から嫌われていると思うことを何というか。 |  |
| 18 | 自分があること，ある分野において他人と比べて優れていると思い，自己満足することを何というか。 |  |
| 19 | 成人期の開始時期，青年の社会的自立が遅れている状況を何というか。 |  |
| 20 | 人間を他者・社会との関わりをもつ存在ととらえ，他者・社会が自己に期待する役割を自覚することによって自我が形成されるとしたアメリカの社会心理学者とは誰か。 |  |
| 21 | G.H.ミードは，自分の視点から見た自己と他者の視点から見た自己を，それぞれ何とよんだか。 |  |
| 22 | G.H.ミードは，身近な個別的存在だけではなく，さまざまな立場の他者が統合された社会的他者のことを何とよんだか。 |  |
| 23 | 他者とのコミュニケーションを通じて，自分が他者からどのように見られているかという観点から自己を捉えたアメリカの社会学者は誰か。 |  |
| 24 | クーリーは他者の目に映った自己の姿を通じて形成された自己像をなんとよんだか。 |  |
| 25 | 子どもの認識能力を研究し，段階的に発達する過程を論じたスイスの心理学者は誰か。 |  |
| 26 | 自己中心的立場から離れ，他者の視点から客観的・多面的なものの見方を身につける過程をピアジェは何とよんだか。 |  |
| 27 | 今日的な意味での「子ども期」は中世末期から17世紀にかけて誕生したとするフランスの歴史学者は誰か。 |  |
| 28 | 南太平洋の諸島を調査し，青年期の特色が生得的なものではないと説いたアメリカの文化人類学者は誰か。 |  |
| 29 | ある人間の行動や思考の特徴的型，環境や他者に働きかけるときの欲求や行動の統一的型を何というか。 |  |
| 30 | 感情や情緒の特徴的な型のことで，遺伝的要素が強い性質を何というか。 |  |
| 31 | ある人がもっている身体的・精神的な力で，体力・知力・意志力などの総合的な力を何というか。 |  |
| 32 | 性格・気質・能力など，ある人の全体的・統一的・持続的な特徴を何というか。 |  |
| 33 | パーソナリティとほぼ同義で，ある人が他の人と異なる特徴を強調した用語は何か。 |  |
| 34 | 精神分析学の代表的人物で，精神分析運動の指導者となり，人間の性格を関心の向く方向から大きく二つのタイプに分類した，スイスの精神科医とはだれか。 |  |
| 35 | 繊細な神経をもち，関心が自己の内面に集中するようなタイプの性格をユングは何とよんだか。 |  |
| 36 | 社交的・行動的で，外部の客観的なものに関心が傾くタイプの性格をユングは何とよんだか。 |  |
| 37 | 気質が体型に関係しているとして，細長型（分裂気質）・肥満型（躁鬱気質）・闘士型（てんかん気質）に分類したドイツの精神科医はだれか。 |  |
| 38 | 人生は各人が追求する価値により形成されるとして，人生や文化のタイプを6つに分類したドイツの哲学者・心理学者はだれか。 |  |
| 39 | シュプランガーが分類した6つのタイプとは何か。 |  |
| 40 | パーソナリティを類型に分ける理論を何というか。 |  |
| 41 | 類型論に対し，いくつかの特性の組み合わせによってパーソナリティが構成されるという理論を何というか。 |  |
| 42 | 向性や神経症傾向が人の行動傾向を特徴づける特性であるとして，それらの組み合わせによりパーソナリティの差異を考察したイギリスで活躍した心理学者は誰か。 |  |
| 43 | 神経症傾向・外向性・経験解放性・協調性・誠実性の5要素により性格が形成されるとする特性論とは何か。 |  |
| 44 | アメリカの心理学者で，行動の傾向が個人の特性だけではなく，その時々の状況にもよると説いた人物はだれか。 |  |
| 45 | 行動の原因を，周囲の状況を考慮せずに個人の特性だけで判断する心理的傾向を何というか。 |  |
| 46 | 他者と自己を比べ，自己の能力の程度や意見の正しさを把握することにより自己認識を正しくするという理論を何というか。 |  |
| 47 | アメリカの心理学者で，社会的比較理論を提唱した人物はだれか。 |  |
| 48 | 自己に対する肯定的な感情を何というか。 |  |
| 49 | 自尊感情を守り，高めようとすることを何というか。 |  |
| 50 | 成功は自分の能力や努力の成果であり，失敗は他者やその他の状況が原因であるというような偏った心の働きを何というか。 |  |
| 51 | 人間や動物にとって必要不可欠なものを求めようとして，それを得るために行動を起こす働きを何というか。 |  |
| 52 | 食欲，性欲，睡眠欲のように，人間に限らず動物一般にも見られる，身体にかかわる欲求を何というか。 |  |
| 53 | 人間特有の，自己の個性の実現をはかることや他人に認められることを願う欲求を何というか。 |  |
| 54 | 二つ以上の相反する欲求があって，どちらにしてよいかを決めかねるような状態を何というか。 |  |
| 55 | レヴィンが分類した葛藤の3つの型とは何か。 |  |
| 56 | 欲求が何らかの理由によって妨げられ，心の緊張度が高まり不安定になった状態を何というか。 |  |
| 57 | 欲求不満により生じる苦悩に耐えられる自我の強さのことを何というか。 |  |
| 58 | 環境への不適応により欲求不満が続くことで生じる，心理的な緊張感や圧迫感のことを何というか。 |  |
| 59 | 欲求間の葛藤や欲求不満に対処して，外的世界に対応できるようにする働きを何というか。 |  |
| 60 | 適応の一つで，試験に失敗した場合，実力をつけて次回は合格するというように，筋道の通った工夫をともなう行動をとることで，欲求を満たすことを何というか。 |  |
| 61 | 適応の一つで，本来的な欲求を満たさずに，てっとりばやく欲求不満の状態のみを解消する行動をとることを何というか。 |  |
| 62 | 葛藤や欲求不満に当面したとき，自分を守ろうとして自動的にとられる意識内部の適応の仕方を何というか。 |  |
| 63 | 防衛機制の一つで，不快な記憶を忘れようとすることを何というか。 |  |
| 64 | 防衛機制の一つで，「木になっているブドウに手が届かなかったきつねが，あのブドウはすっぱいとけちをつける」など自己の失敗や欠点を他人や制度のせいにするようなことを何というか。 |  |
| 65 | 防衛機制の一つで，欲求不満を解消する例として，ドラマを見て自分がその主人公になった気分になるようなことを何というか。 |  |
| 66 | 防衛機制の一つで，子どものいない人が子どもの代わりに犬をかわいがるようなことを何というか。 |  |
| 67 | 防衛機制の一つで，失恋した作家が創作に没頭するように，あきらめきれない欲求を，より高度な社会的価値のある目標におきかえる努力をすることを何というか。 |  |
| 68 | 代償（補償），昇華のように，ある対象に向けられた敵意や関心などを別な安全な対象に換えて，自我の安定をはかる働きを何というか。 |  |
| 69 | 防衛機制の一つで，相手への感情を知られたくない，あるいは否定したいという思いがあって，反対の行動や言動をとってしまうようなことを何というか。 |  |
| 70 | 防衛機制の一つで，弟や妹の生まれた子どもが，母親に甘えたい欲求を満足させるために，幼児のころの行動に逆戻りするようなことを何というか。 |  |
| 71 | 不安・緊張・危険などの心理的状況を避けようとして，空想や白日夢にふけったり，遊びや気晴らしなど非現実的な世界に逃げ込む働きを何というか。 |  |
| 72 | 防衛機制を説いたほか，夢などに表れた人間の抑圧された記憶を引き出す精神分析の手法を開発し，深層心理学を確立した，オーストリアの精神科医とはだれか。 |  |
| 73 | 人格の成長に劣等感が欠かすことのできないものであるとし，その克服が自己を成長させようとする意志の力となるとしたオーストリアの精神分析学者はだれか。 |  |
| 74 | 人間の欲求を欠乏欲求から成長欲求まで階層的に位置づけたアメリカの心理学者はだれか。 |  |
| 75 | マズローが説いた欠乏欲求にはどのようなものがあるか。 |  |
| 76 | マズローが説いた成長欲求にはどのようなものがあるか。 |  |
| 77 | フロイトが生物学的に欲求充足を捉えたのに対し，他者との交流や文化的・社会的側面を強調して満足感をえることを説いたアメリカの心理学者はだれか。 |  |
| 78 | 他者，ものごと，状況などに対して抱く喜び，悲しみ，怒り，驚きなどの気持ちを何というか。 |  |
| 79 | アメリカの心理学者で，異なる社会や文化で生きている人にも共通する6つの基本的感情があると説いた人物はだれか。 |  |
| 80 | エクマンが説いた6つの基本的感情をすべてあげよ。 |  |
| 81 | アメリカの心理学者で，感情の特性を二次元からなる円環モデルとしてとらえた人物はだれか。 |  |
| 82 | ラッセルが円環モデルの軸とした二次元とは何と何か。 |  |
| 83 | 顔，内臓，手足などの身体の末梢部分での生理的反応が脳に伝わることで感情が生じるとする理論を何というか。 |  |
| 84 | 感情の末梢起源説を論じた心理学者を二人あげよ。 |  |
| 85 | 感情の末梢起源説を端的に表した代表的なことばをあげよ。 |  |
| 86 | 環境からの情報が脳内の視床・大脳皮質に伝達され感情が生じるとする理論を何というか。 |  |
| 87 | 感情の中枢起源説を論じた心理学者を二人あげよ。 |  |
| 88 | 心拍数の高まりなどの身体的反応とその原因の解釈により感情経験が決まるとする理論とは何か。 |  |
| 89 | 感情の二要因説を論じた心理学者を二人あげよ。 |  |
| 90 | 外界からの情報を取り入れ，知識を蓄え，それを利用して適切な判断を導き出す活動の全体を何というか。 |  |
| 91 | 目，耳などが刺激されて生じる視覚・聴覚・味覚・嗅覚・皮膚感覚・内臓感覚などの意識経験を何というか。 |  |
| 92 | 感覚器官から得た情報を学習・知識・経験により自覚的に構成するはたらきを何というか。 |  |
| 93 | 事物や現象などの対象がある程度変化しても，知覚がそれを同一の対象として認識することを何というか。 |  |
| 94 | 感覚器官に異常がないにもかかわらず，対象を実際と異なる事物・現象として認識することを何というか。 |  |
| 95 | 視覚に関する錯覚のことを何というか。 |  |
| 96 | 同じ長さの線分でも矢印の向きにより同じ長さに見えないという錯視の事例を何というか。 |  |
| 97 | 反転図形の事例で，大きな壺にも向かい合った二人の顔にも見える図を何というか。 |  |
| 98 | 過去の経験や学んだことを情報として取得し，再現することを何というか。 |  |
| 99 | 記憶の3段階をあげよ。 |  |
| 100 | 記憶の3段階の一つで，感覚されたものを，音や形などに意味づけたり，関連づけることを何というか。 |  |
| 101 | 記憶の3段階の一つで，符号化された記憶を誰かの顔や声などとして保存されることを何というか。 |  |
| 102 | 記憶の3段階の一つで，貯蔵された情報を再生，再認，再構成することを何というか。 |  |
| 103 | 記憶は保持の長さにより2つに分類されるが，その2つとは何か。 |  |
| 104 | 短期記憶において，推論や計算，会話などにあたって，保持した情報の内容を変えたり，複数の情報をまとめる能動的側面を何というか。 |  |
| 105 | 問題解決にあたり，定められた手続きにしたがい着実に進める方法を何というか。 |  |
| 106 | 問題解決にあたり，事例の思いつきやすさに基づいて判断するような，簡略化された方法を何というか。 |  |
| 107 | スイスの心理学者で，子どもの認知発達段階を4つに分類した人物はだれか。 |  |
| 108 | ピアジェは，感覚と運動による外界との相互作用により認識を形成し，自分と自分以外のものを区別できるようになる時期を何とよんだか。 |  |
| 109 | ピアジェは，ことばの理解が進み，象徴機能も発達し，自分や他者を他のものに見立てたり，自分の視点から世界をとらえるなど思考が自己中心的である時期を何とよんだか。 |  |
| 110 | ピアジェは，具体的なことがらを論理的に考え，他者が自己と異なる心の状態をもつことを理解できるようになり，自己中心性を脱する時期を何とよんだか。 |  |
| 111 | ピアジェは，具体的ことがらだけでなく，想像上の現実や象徴的概念を扱い，おとなのように抽象的・論理的思考ができるようになる時期を何と呼んだか。 |  |
| 112 | 人間が幼児から青年，成人へと成長する過程をいくつかの段階に分けたものを何というか。 |  |
| 113 | 人間が社会的に健全な形で成長するため，乳幼児期，児童期，青年期等のそれぞれの発達段階で達成しなければならない課題を何というか。 |  |
| 114 | 青年期の主な発達課題を挙げよ。 |  |
| 115 | 人生を8つの発達段階に分け，それぞれに発達課題があるとし，青年期における課題を明確にしたアメリカの精神分析学者はだれか。 |  |
| 116 | 自分が過去から一貫して自分であり，他と異なる存在であるという確信を何というか。 |  |
| 117 | 青年期において，自分は自分であり，真の自分は不変であると意識することを，エリクソンは何とよんだか。 |  |
| 118 | 集団のなかでの自己の役割を見いだせず，青年が精神的な危機に陥ることを，エリクソンは何と表現したか。 |  |
| 119 | 青年が，将来の準備期間として，社会における義務の遂行を猶予されたり，免除されたりしていることをエリクソンは何と表現したか。 |  |
| 120 | モラトリアムの期間に，これまで体験したことのない役割や活動に取り組み，試行錯誤することを何というか。 |  |
| 121 | 自我の発達過程にしたがって人生をいくつかの段階に分けることを何というか。 |  |
| 122 | フロイトの精神分析学を批判し，正常な人間の行動や目的追求などを強調し，人間学的方法から成熟した人格を論じたアメリカの社会心理学者はだれか。 |  |
| 123 | オルポートが説いた成熟した人格の特質を挙げよ。 |  |
| 124 | 人間の成長過程を乳幼児期から老年期までの6つの発達段階に分類し，青年期の発達課題として，同世代の男女の洗練された交際を学ぶことや，親からの心理的独立，社会的に責任ある行動などをあげたアメリカの心理学者はだれか。 |  |
| 125 | アメリカの心理学者で，ピアジェの発達段階を発展させ，道徳的判断に関する6つの発達段階を提唱した人物はだれか。 |  |
| 126 | コールバーグが説いた道徳的判断の発達段階における3つの水準とは何か。 |  |
| 127 | コールバーグによる「慣習以前の水準」のうち，物理的な結果によって行動の善悪を判断する段階を何というか。 |  |
| 128 | コールバーグによる「慣習以前の水準」のうち，正しい行動とは自分の欲求と他者の欲求を満たすことに役立つことであると考える段階を何というか。 |  |
| 129 | コールバーグによる「慣習的水準」のうち，他者に配慮し，他者から承認されることがよい行動であると判断する段階を何というか。 |  |
| 130 | コールバーグによる「慣習的水準」のうち，社会秩序を維持したり，自分の義務を果たすことが正しい行動であると判断する段階を何というか。 |  |
| 131 | コールバーグによる「慣習以後の水準」のうち，正しい行動とは個人の権利に配慮しつつも，社会全体により吟味，合意された基準に基づくものと考える段階を何というか。 |  |
| 132 | コールバーグによる「慣習以後の水準」のうち，正しさとは普遍性・一貫性のもとで，自ら選択した倫理的原則に一致する良心により規定されると考える段階を何というか。 |  |
| 133 | フロイトやエリクソンを研究し，人生の選択を避けていつまでもモラトリアムの状態にとどまる現代青年の特色を論じた日本の精神分析学者はだれか。 |  |
| 134 | 小此木啓吾は，社会集団に所属することを引き延ばしてモラトリアムの状態にとどまっている青年のことを何とよんだか。 |  |
| 135 | 周囲に甘やかされて育った青年男性が，おとなとしての義務遂行を拒否し，子どものままでいようとする現象を，アメリカの心理学者ダン＝カイリーは何とよんだか。 |  |
| 136 | 自分本位，自己中心主義のことで，自分のことしか考えない風潮のことを何というか。 |  |
| 137 | 物事への関心や感動が薄く，意欲的な行動に欠ける生活状況のことを何というか。 |  |
| 138 | アルバイトなどには意欲的であるが，学業や就職活動などには無気力な学生特有の状態を何というか。 |  |
| 139 | 既成の文化への反発等の側面を強くもち，青年特有の内面的なエネルギーによってつくり上げられる，青年独自の考え方や行動様式を何というか。 |  |
| 140 | 若者文化が大人文化や既成文化に対して，二次的な側面が強いことを強調して何というか。 |  |
| 141 | 人生に対してもつ全体的・統一的なものの見方・考え方のことを何というか。 |  |
| 142 | 人生観のなかで，理想をその中心におき，高い価値を想定してそれに向かう立場を何というか。 |  |
| 143 | 人生観のなかで，現実を踏まえながら自己の人生をつくりあげようとする立場を何というか。 |  |
| 144 | 世界に対してもつ全体的・統一的なものの見方・考え方のことを何というか。 |  |
| 145 | 世界観のなかで世界の本質が物質であり，一般に神的なものを考えない立場を何というか。 |  |
| 146 | 世界観のなかで世界の本質が精神や観念であり，一般に神的なものに価値を求める立場を何というか。 |  |
| 147 | 他に対して自己を主張したり，表現したりする自主性や独立性のことで，特に倫理的な責任を負う自主的決断性を何というか。 |  |
| 148 | 主体性を喪失して自分自身の生きる方向性を失うことを何というか。 |  |
| 149 | 主観の要求を満たし，真・善・美・聖などそれぞれの人生観において求めるものを何というか。 |  |
| 150 | あることを意図したり，あるものへ注意を向けたりする際に，その目標の実現にあたって価値を想定して意識的に向かうことを何というか。 |  |
| 151 | 自分自身の思考や行為を通して，自分自身がひとりの人間として求められているという意識を何というか。 |  |
| 152 | 自己充実感を核心として自分の人生に対する意欲を引き出してくれるものを何というか。 |  |
| 153 | 自分の人生観・世界観に基づき，個性を生かしながら人生を形成し，自己の存在の尊厳を確立するために努力すること，またはその結果を何というか。 |  |
| 154 | 自己実現を通して，自分の存在の無二性を自覚するとともに，他者との関わりのなかでの自己の存在について意識することを何というか。 |  |
| 155 | 古代ギリシャからの伝統的な価値で，学問・道徳・芸術がめざす理念とされているものは何か。 |  |
| 156 | 古代ギリシャからの価値に加え，キリスト教による宗教的な価値を加えたものを何というか。 |  |
| 157 | 何が価値であるかということが社会の変化や時代の推移によってさまざまに展開することを何というか。 |  |
| 158 | 『車輪の下』などの作品を通して人生の苦難が自己実現への道であると説いたドイツの小説家・詩人は誰か。 |  |
| 159 | 社会の政治的・経済的要因により形成される性格を社会的性格とよび，社会や文化が人間の心理に与える影響を解明したアメリカの心理学者はだれか。 |  |
| 160 | 社会や文化が個人の心理に与える影響を考え，社会の政治的・経済的条件により形成された性格（生産的性格と非生産的性格）をフロムは何とよんだか。 |  |
| 161 | ナチスによる迫害体験を基に，自由がもたらす不安や孤独が自由から逃げ出し，服従や所属を求める心理を分析したフロムの著書は何か。 |  |
| 162 | アウシュヴィッツ収容所の体験から，人間存在と人生の意義や目的を解明する実存分析を説いたオーストリアの精神医学者は誰か。 |  |
| 163 | フランクルは人間は何を求める存在であるとしたか。 |  |
| 164 | 人間を生きる意味を求める精神的存在としてとらえ，人生に対する態度や行動を分析し，生きる意味を解明しようとするフランクルの理論を何というか。 |  |
| 165 | フランクルがアウシュヴィッツ収容所の体験を記した著書は何か。 |  |
| 166 | 価値を，快適さ・生命的・精神的・宗教的の4つに分類して，価値倫理学を説いたドイツの哲学者はだれか。 |  |
| 167 | 人間は他者との関係において存在し，その本質は「われとそれ」ではなく「われと汝」の関係であると説いたユダヤ人の宗教哲学者はだれか。 |  |